

(臨床研究に関する公開情報)

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

脊椎靭帯骨化症患者における画像および臨床評価—後ろ向き研究—

[研究責任者]

整形外科 医長 竹内 一裕

[研究の背景]

脊椎靭帯骨化症（後縦靭帯骨化症（OPLL）、黄色靭帯骨化症（OLF）、前縦靭帯骨化症（OALL））は、原因不明の難治性疾患に認定されています。その骨化進展は、脊髄圧迫を来し、進行性の神経障害を呈することが知られています。実際には、上下肢のしびれや機能障害による日常生活動作（ADL）の低下が問題となって参ります。

脊椎靭帯骨化症の画像的・臨床的評価の継続は、疾患の自然経過や病態の解明に繋がります。また、外科的対応が考慮される場合、本研究による術後成績および経過観察に関する研究は、今後の治療法選択にも貴重な情報を提供してくれるものと期待します。

[研究の目的]

この臨床研究は、当院で脊柱靭帯骨化症に対し、検査・治療を行われた患者さんに対して後ろ向き研究を行い、画像評価および臨床症状の調査を行うことを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2006 年 4 月から 2019 年 3 月までの間に当院で脊柱靭帯骨化症に対し、検査・治療を行われた患者さん

●研究期間

臨床研究審査委員会承認後、許可日から西暦 2022 年 7 月 31 日まで

●利用するカルテ情報

下記のカルテ情報を収集いたします。

- 患者さんの基本的な情報
（性別、身長、体重、既往歴、受傷前及び退院時の生活場所、歩行能力など）
- 臨床情報
（診断確定日、診断名、治療方法、治療薬など）
- レントゲン検査結果、CT および MRI 検査結果

(骨強度、骨折部の状態など)

・理学療法評価

(動作能力、アンケートによる生活動作能力評価、認知症評価の結果など)

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者 武田亜希子が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター

研究責任者：整形外科 医長 竹内 一裕

電話 086-294-9911 (代表)